

交換留学(派遣) 帰国報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	University of Kent
留学先での所属学部・研究科:	School of Social Policy, Sociology, and Social Research
留学先での在籍身分:	short-term student
留学期間:	2019年 9月 14日～ 2020年 6月 14日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	2年
帰国日:	2020年3月26日
本報告書記入日:	2020年6月20日



1. 留学先大学について		
1-1	学年開始月日:	9月 23日
	学年終了月日:	6月 12日
	学期:	① 9月 23日～ 12月 13日
		② 1月 13日～ 4月 3日
③ 5月 4日～ 6月 12日		
④ 月 日～ 月 日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	人気のある分野は、ドラマなどのカルチャースタディーズ系です。ですが、理系も文系も幅広く学部があり、授業も設備も整っています。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	留学生向けの、無料のエッセイやプレゼンの講座なども開講されています。また、語学サポートのオフィスがあり、予約すればエッセイの添削なども受けられます。
	勉学面でのサポート:	エッセイの書き方など、アカデミック初心者向けの無料講座も開講されています。これもオフィスがあり、予約すればカウンセリングなどを受けられます。
	精神面でのサポート:	寮生活でトラブルを抱えている人や勉強面など、様々な面でのメンタルケアの相談ができオフィスやテレフォンラインがあります。
	住居・生活面でのサポート:	総合的なアコモデーションオフィスと、各寮の建物にあるレセプションとオンラインフォームがあり、不具合には迅速に対応してくれます。寮のメンテナンスや共有空間の掃除はハウスキーパーの方がしてくれます。
	課外活動のサポート:	学期初めに新歓祭のようなものがあり、そこでソサエティ活動の話の話を聞くことができます。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について		
2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	家賃の差がきっちり寮のクオリティに出ます。高くはなりますが、トイレとシャワーが部屋にあるen-suiteタイプにすることをおすすめします。フラットメイトとの相性などもとても大事ですが、それは運なので仕方ないです。

3. 生活について		
3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮と大学のwifiは同じeduroamです。大学内やCanterburyの街中はモバイル回線が悪いですが、学内wifiはとても快適です。家賃や学費にwifiの使用量が含まれています。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	上記参照
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	構内にmedical centreがあります。一度使用しましたが保険適用で無料でした。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	日本の銀行口座のVISAのデビットカードを最もよく使用しましたし、使えない店も少なかったです。学生ライフカードのMastercardは使えない店がいくつかありました。現地口座は一応開設しましたが使いませんでした。ただ、友達と割り勘をする際などにMONZOが便利です。複数の友人がデビットカードの情報を盗まれて口座から金を引き出されていたので、口座の中にあまりたくさんのお金を入れておくのはお勧めしません。手間ではありますが奨学金等が振り込まれたら一度親に引き出してもらい、一週間に一度2万円程度など振り込んでもらう方が良いと思います。

4. 経費について(奨学金、留学費用)		
4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	業務スーパージャパンドリーム財団
	支給額(円/月):	15万円/月
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。 (概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	261,020円
	住居費:	(月額) 10万円 × (留学期数) 6ヵ月 = 65万円
	食費:	(月額) 5.5万円 × (留学期数) 6ヵ月 = 38.5万円
	保険料:	7万円
	その他:	20万円
	合計(留学期間全体の費用):	156万円
5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	飲酒が学生のコミュニケーションの基盤となっている。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	あまり取っていない。店員と話す程度。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	ソサエティ活動(ジャパソサエティ・ミュージックソサエティ・学内新聞ソサエティ)に顔を出した。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	比較的安全な地域。それでも夜遅くに一人で出歩くのは控えた方が良い。
6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	CFNのロンドンキャリアフォーラムに参加予定だったがコロナウイルスの影響で中止になった。
7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	特になし。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	お箸、お茶碗、mLを測れる計量カップ、化粧水、小麦粉などの袋を止めるやつ
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力は向上した。生活の適応力がついた。遅くなった。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	iPhoneが盗まれたこと、コロナウイルスの影響で留学が中止になったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	イレギュラーなことも多かったと存じますが、サポートいただきありがとうございました。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	自然のどかなイギリスの田舎でゆったり過ごしたい人には強くおすすめします。ロンドンから少し遠いので不便ではありますが、ウサギやリス、野鳥に囲まれてのんびり暮らせます。夕焼けと霧雨に映える美しい街です。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。 (5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)	
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	3
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか	2
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
・留学全体の総合的な評価	4	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)

トラブルに絶えない留学生活でした。まず、留学前から希望していた授業の履修を全然認められないというトラブルがありました。私は留学に関して、神戸大学では学ぶことのできないメディアやジャーナリズム関連の授業を受けられることを期待していたのですが、初めにシラバスを読み、留学生への履修制限の記載のないものを選んだのにも関わらず、8割ほどの授業の履修を断られました。結果として第2、3で希望した授業も興味深く受けられたので良かったのですが、留学前からの落胆は大きかったです。また、私のieltsのスコアが高校3年次に取得したものだったため、学内選考や奨学金の手続きなどが済み、留学先大学にアプライする段階になって「留学開始日までにスコアが無効になるため、有効なスコアを提出してください」と言われ、急遽1か月以内に再受験しなければいけなくなりました。留学中に最も困ったのは、iphoneが盗まれたことです。盗難に気を付けるようにはしていたのですが、ケント大学があるカンタベリーは比較的治安の良い街のためすっかり油断しており、ロンドンでポケットに入れていたiphoneを一瞬のうちに盗まれました。幸い、盗まれた当時友人と一緒に、友達のフラットメイトが使っていないiphoneを貸してくれたので、新しく購入するまでの間は繋げたのですが、イギリスは物価も消費税も高いので、かなりの出費を強いられました。また、そうでなければロンドンから帰りのバスのチケットもありませんでした。重要な書類や写真は、きちんとクラウド保存しておくこと、バックアップを取っておくこと、何よりも気を抜かずスリ対策をすることを心掛けてください。留学中は、あまり積極的に交友しなかったです。あまりに寮の居心地がよかったこと、フラットメイトも部屋にこもり勉強などをするタイプだったこと、私自身がまったく飲酒できない体質でコミュニティにあまり馴染めなかったことなどが理由に挙げられます。ソサエティ活動も、日本のサークルほどは厳密にオーガナイズされていないため、かなり自由度と人の出入りが激しいです。最終的にはコロナウイルスのせいであっという間に帰国することになってしまったため不完全燃焼の部分も多いですが勉学に関しては目標を達成できたと思っています。また、一人で好きなご飯を作り、空き時間には読書や趣味に時間を当て、夕暮れの街まで一人で自然と街並みを楽しみながら買い物から散歩をするというスローライフは自分にとってもあっていました。ライフスタイルを見直すきっかけになったと思っています。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Media and Meaning	Dr Dieter Declercq	4	30	English	50	毎週リーディング課題とブログの課題、最終エッセイとテストがあります。
2	Introduction to East Asian Tradition	Dr Leslie de Vries	2	15	English	25	リーディング課題は軽めです。レポートが2本あります。
3	Introduction to Reporting	Christine Rayner	2	15	English	15	予習や宿題は少ないです。英語での実践的なジャーナリズムの授業なので英語力が必要です。
4	Essentials of Reporting	Christine Rayner	2	15	English	15	同上。
5	Contemporary Culture and Media	Kayleigh Flaxman	2	15	English	40	ディスカッションの為に予習が必要です。エッセイとテストがあります。
6	Communication and Humanitarianism	Keith Somerville	2	15	English	10	エッセイとプレゼン、テストがあります。高学年向けの授業のため、内容が難しいです。
7	Introduction to Media Law	David Acheson	2	15	English	15	若干のリーディング課題、テストとエッセイがあります。ディスカッションの為に予習が必要です。イギリスの法知識もあった方が良いでしょう。

イギリスの学生はもっと勉強に対してやる気がある生徒が多いと思っていたのですが、正直真面目な学生とそうでない学生の差が激しいです。真面目な学生はリーディング課題もきちんとこなして授業もセミナーもすべて出席し先生に積極的に質問などもしているのですが、そうでない学生はクラスにほとんど出席しませんしエッセイのクオリティも高くありません。ディスカッションしようと思ってもグループメンバーに「今日のリーディングやってないから勝手に話しておいて」と言われたこともあります。リーディング課題は、留学生は全て完璧に読もうと思っても追いつけなくなってしまうこともあるかと思うので、要領よくやるのをおすすめします。エッセイは、文法チェックなどしてくれる友達を見つけるか、オフィスの人に頼ると良いと思います。また、イギリスのアカデミックな環境ではかなりサイテーションへの姿勢が日本と違い、引用方法、言い換えなどはきちんと学んで慣れる必要があると思います。講座が開かれているので、参加することをおすすめします。